

第2回東部瀬戸内海研究集会

「瀬戸内海東部海域の各湾・灘における環境、漁業の現状と課題」

日 時：2022年3月5日（土）13:00～16:30

場 所：Zoomによるオンライン開催（発信：大阪環農水研）

※参加希望の方は3月4日17時までに Os-suigi@mbox.kannousuiken-osaka.or.jp までご連絡ください。

共 催：地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

コンビナー：大美博昭（大阪環農水研）、山本圭吾（大阪環農水研）、西川哲也（兵庫水技セ）

- | | |
|--|-------------|
| 1. 開会挨拶：木村伸吾（水産海洋学会長） | 13:00～13:05 |
| 2. 趣旨説明：大美博昭（大阪環農水研） | 13:05～13:10 |
| 3. 話題提供 ※1課題 20分 質疑5分
座長：西川哲也（兵庫水技セ） | |
| (1) 備讃瀬戸海域における栄養塩環境の変化と水産資源への影響
高木 秀蔵（岡山水研） | 13:10～13:35 |
| (2) 兵庫県におけるノリ養殖の現状と課題
谷田 圭亮（兵庫水技セ） | 13:35～14:00 |
| (3) 香川県沿岸における環境と漁業生産の経年変動
山本 昌幸（香川水試） | 14:00～14:25 |
| (休 憩) | 14:25～14:35 |
| (4) 大阪湾で操業する底びき網（石げた網）における漁獲量および魚種組成の変化
大美 博昭（大阪環農水研） | 14:35～15:00 |
| (5) 播磨灘の貧栄養化と豊かな海—生態系ネットワークからの探求
相馬 明郎（大阪市大院工） | 15:00～15:25 |
| 4. 総合討論
座長：日下部敬之（大阪環農水研） | 15:25～16:25 |
| 5. 閉会挨拶：石井 実（(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長） | 16:25～16:30 |

開催趣旨：

瀬戸内海では、2015年に瀬戸内海環境保全特別措置法が改正され、湾・灘ごとや季節ごとの課題に対応し多面的価値・機能が最大限に発揮された「豊かな瀬戸内海」を目指すことが明記された。同改正により、今後の施策の方向性が、「きれいな海」の実現から「豊かな海」の実現へ大きく方向転換されたと言える。さらに、2021年の法改正では栄養塩管理、藻場・干潟等の保全、海洋ごみ、気候変動といった視点が盛り込まれた。

近年、瀬戸内海東部海域では、海水温の上昇や海域の貧栄養化などの海域環境の変化によって、海苔養殖の色落ちや食害、貝毒の発生、漁獲量の減少など、様々な問題が顕在化している。本研究集会では、地方自治体の水産関係研究機関を中心に実施された調査結果から、現在の瀬戸内海東部海域の現状を概観し、各湾・灘が抱える課題を抽出することによって、その情報を共有するとともに、課題解決に向けた今後の研究に必要な視点、方向性について議論したい。